

信州中野高社山さくらの里、花のうるおい実践事業

取組に至る背景・事業の目的

歴史や景観、農産物、名水といった資源をもつ谷巖寺一帯で、桜と紫陽花の開花期にあわせ、地域住民が手づくりでイベントを開催して来訪者をもてなすことにより、地域の活性化を図るとともに、郷土への誇りと愛着心を喚起させる。

事業内容

桜と紫陽花の開花期にあわせて観桜会及び紫陽花祭りを開催し、地域住民が参加して野点やコンサートといったイベントを実施するとともに、農産物の直売や名水活用商品の販売を行い、さらに会場である谷巖寺境内やその周辺の案内を行った。



【観桜会直売所の様子】

事業効果

地域資源を活用した手づくりの取組みが地域にも浸透しつつあり、イベントへの地域住民の協力者が40名（対前年19名増）に増加した。

また、観桜会や紫陽花祭りの知名度も上がりつつあり、谷巖寺一帯を含む赤岩地区を訪れる観光客も4.8万人（対前年2.3万人増）に増加し、農産物及びその加工品の販売実績も180万円（対前年130万円増）に増加しており、地域の活性化が図られている。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

地域の素晴らしい資源を再認識し、その価値を見直すことが、地域を活性化させる取組みへとつながっている。

【選定のポイント】

地域の取組みにより着実に観光資源として育ちつつある。さらにこうした取組みが、地域全体で盛り上げていこうとする動きになっている。

団体名	信州中野高社山さくらの里（中野市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	会長 湯本洋一	事業費	828,430円
	事務局（0269-26-5823）	支援金額	828,000円